

「体験型林業・木材講座」の開催(その2)

1 はじめに

前号では、高校生の林業・木材産業への興味や理解度の向上を目的に開催した「体験型林業・木材講座」の概要と、講義内容を紹介しました。今回は、林業機械操作体験と製材機械等操作体験の内容について紹介します。

なお操作体験は、(有)丸大県北農林と、(有)マルヒ製材の協力の下、実施しました。

2 講座の概要

前号参照

3 体験の概要

(1) 林業機械操作体験

事業体	(有)丸大県北農林(洋野町)
開催日	6/27、6/30
時間	9:20～11:50
場所	伐採現場 (洋野町種市第3地割内)
体験機械	グラップル、グラップルソー、 ハーベスタ等(6台)
実体験時間	約70分/人 (10～12分/人・台)

(2) 製材機械等操作体験

事業体	(有)マルヒ製材(久慈市)
開催日	6/27、6/30
時間	8:55～12:25
場所	製材工場内 (久慈市夏井町大崎)
体験項目	検知、皮むき、製材機、モルダ ー、曲げ試験等(7項目)
実体験時間	約60分/人 (5～15分/人・項目)

4 アンケート結果

操作体験後は、「操作は難しかったが楽しかった」「初体験でドキドキした」「自分でも



写真1 林業機械操作体験の様子



写真2 製材機械等操作体験の様子

できそうだった」「(林業で)機械を使うということが意外だった」等の感想が寄せられました。また、各体験項目で「次回も体験したい」が概ね7割を超えていました。

5 おわりに

今回の講座は初めての試みでしたが、事業体の積極的な協力も得られ、高校生に林業・木材産業の一部を伝えられたこと、林業・木材産業への興味が向上したこと、就職対象として認識されたことなど、大きな成果があったと考えています。

新規就業対策は、継続することが重要と考えられるので、今後も内容を改良しながら、業界と共に取組んでいくことにしています。